

ぼらっと



2019年
9月26日発行
86号

あなたの活動を応援します!! ボランティア活動助成金情報 赤い羽根共同募金『令和2年度福祉のまちづくり支援事業』の募集

地域で身近な福祉課題に取り組む団体や、住民に向けた福祉サービスを行う団体の「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を支援するための助成事業をお知らせいたします♪

★対象団体

地域の福祉向上を目的に活動する県内のボランティア・NPO団体や、町内会・自治会等任意の住民グループ

※団体要件がありますのでご確認下さい。

★助成額

1万円から20万円まで(千円単位で助成)

★応募方法

※必要書類を栗石町社会福祉協議会、または
令和元年10月15日～令和元年11月29日まで
に提出してください。

★助成金に関する問合せ先

栗石町社会福祉協議会ボランティア活動センター

☎ 692-2230

お待ちしております♪



高齢者

幼児・児童

障がい

若者自立支援

ふれあいサロン

環境整備

しずくしの町を良くするしくみ
赤い羽根共同募金

住民全般を対象とした活動に助成



畠山実行委員長

「ボランティアは特別な人が行うのではなく、**出来る人が、出来る時に出来る事をやる。**それがボランティアのモットーです!!今日は皆さん楽(ラク)に行きましょう!!」

委員長挨拶より抜粋

栗石町ボランティアフェスティバル 2019を開催しました!!

8月17日(土)、町総合福祉センターを会場に『ボランティアフェスティバル2019』を開催しました!!
当日は、畠山実行委員長の挨拶からスタート!!ボランティアスタッフ自身も楽しみながら盛り上げました。



ボラフェス2019の様子は紙面では掲載しきれないため、栗石町社会福祉協議会HPにも掲載しております。そちらもご覧下さい。

HP→<http://www.shisha.or.jp/>

新たなボランティア活動の形!! ~SJHボランティア活動プロジェクト会議始動~

SJHボランティア活動プロジェクト会議とは、雫石中学校の生徒会と家庭部のメンバーで構成された『プロジェクトチーム』による会議です。今までの雫石中学校のボランティア活動は先生方がどんな活動をするか選択し、生徒に呼び掛けをしていました。しかし、ボランティアとは「先生が生徒に呼び掛けなければならない?」「ボランティア活動に理解のある先生が転勤したらボランティアはしないもの?」。

今一度、ボランティア活動とは何かを自分たちで学び、生徒会主体で自分たちが活動するボランティアを選択し、募集をするという新たなボランティア活動の形として『雫石中学校 (SJH) 方式』の流れを作り上げるために度重なる会議を行ってきたものです。今回、雫石町ボランティア活動センターでは、出前講座として生徒皆さんのアイデアを実現するためにお手伝いさせていただいたので、ご紹介いたします♪



ステップ①
ボランティアって何?
まずは『知る』こと!!



ステップ②
アイデアを出そう!!
自分たちにできることは?



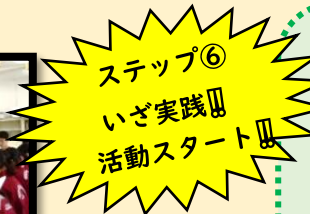
ステップ③
皆で共有しよう!!
共通意識を持とう!!



ステップ④
ボランティア募集チラシ作成!!
必要な情報って何?



ステップ⑤
チラシ完成!!
いよいよ募集開始!!



ボランティアフェスティバル
2019



はーとぽーと雫石訪問



突撃!!インタビュー!! ~SJHプロジェクトで感じた事~

雫石中学校2年生
生徒会執行部
岩井 太治郎さん



雫石中学校3年生
生徒会副会長
上田 隆聖さん



私は、ボランティアとは被災地に行って辛い仕事をするイメージでしたが、実は自分が身近な所で結構やってきたことなんだと感じました。

今回、ボランティア募集の為にチラシを作成しましたが、人を集めるには細かな情報が必要なんだと感じました。私自身もボランティアに参加して、以前は「生徒会だから参加しなきゃ」という思いがありましたが、ボランティアの呼びかけをし、自分の意志で皆と参加したのでいつもより人の役に立っている実感がありました。

SHJプロジェクトは今の状況を下の代まで繋いでいく事も必要ですが、これを機にもっと大きな事も出来るようになりたいと考えました。例えば、学童保育とか保育園とかであれば、子どもが好きだったり、将来仕事にしたい人も集まったり、参加してくれた人も楽しめると思いますし、自分も行ってみたいと思います。

私は、ボランティアとは町単位の大きいイメージでしたが、個人の家で出来る活動もボランティアと知り、新しい考え方だと感じました。

今まで学校での募集活動は、貰ったポスターを掲示するだけでしたが、実際に自分でチラシを作り募集となると、どんな情報が必要か、何を不安に思うのか考えました。

一度ボランティアを経験し、楽しいと思ってくれば、ボランティアに対するハードルは下がると思います。今回、自分もボランティアに参加して、楽しかったと言っている人を見るとやって良かったなと思います。

次の代には、今回のSHJプロジェクトを一回きりではなく伝統として引き継いでもらえる活動にできれば嬉しいです。

今後は、被災地へ出向いてボランティア活動を行ったり、大人になってからは町おこしの活動もしていきたいと思っています。

※全ての依頼を受けられるわけではない為、依頼をする際は必ず学校に問い合わせさせていただきますようお願いいたします。